

## 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	JAFLO大阪	事業所番号	2713700694
住所	大阪府摂津市別府3-19-18	管理者名	道下 真紀
電話番号	06-6770-9709	対象年度	令和6年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p><b>活動場所</b> 大阪市西区九条3-2-19</p> <p><b>実施日程</b> 令和5年4月1日～令和6年3月31日</p> <p><b>実施した生産活動・施設外就労の概要</b></p> <p>PCを利用して伝票作成、梱包作業、出品作業、撮影、検品 弁当製造、ハンバーグ製造</p> <p><b>利用者数</b> 8人</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  <p>ハンバーグ形成</p>  <p>撮影代行</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p><b>地域連携活動のねらい</b></p> <p>地域、企業、商店など、お互いにふれ合う機会ができる</p> <p><b>地域にとってのメリット</b></p> <p>潜在的な顧客層の獲得にも繋がり、人の流れができる</p> <p><b>対象者にとってのメリット</b></p> <p>生活圏外に出かける機会が増すため、視野が広がる</p>	 <p>焼きしゃぶ弁当</p>  <p>弁当梱包</p>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p><b>実施した結果</b></p> <p>対顧客という職場で、他者への貢献、社会への貢献が目に見える形で、 利用者の実感を得やすく、より一般へのステップアップの場を作りやすい。</p> <p><b>得られた成果</b></p> <p>3名一般就労移行できた。</p> <p><b>課題点</b></p> <p>一般就労移行した後の意識の維持と、対人関係を1から構築することの 難しさを、本人にどこまで教えることができるかが課題。</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

## 連携した結果に対する意見または評価

さらなる生産性の向上が課題となる。作業を細分化し、請負が可能な作業のみを委託するため、手間が増える場面が目立つ。職業指導員との協議を定期的に行い、双方にとってより良い環境作りと仕組み作りが必要。利益率改善のための施策を提案。より一般就労に近い環境を作り、本番さながらの訓練を行えるので、利用者本人にとっては非常にいい経験を積める。

## 今後の連携強化に向けた課題

連携を強化するためには、職業指導員と頻繁に協議し、お互いの問題点を提起する事。またその問題点を1つ1つ潰していく。時間を要するため、そのためのコミュニケーションの時間をどのように設けることができるかが課題。委託先企業、事業所、利用者の三方吉の企画を提案し、合意形成を得るまでのハードルが高いため、お互いがある程度の妥協点を持つこと。

連携先企業名	株式会社オフィスナガタ、株式会社シンライズ	担当者名	永田
--------	-----------------------	------	----